

2019年 3月期 第3四半期  
2018年 4月 1日 ~ 2018年 12月 31日

## 連結決算の概要

株式会社 ジェイ・エム・エス

(証券コード 7702)

2019年2月7日

# 業績ハイライト

～2019年3月期 第3四半期～



百万円

	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	増減額	対前年同四半期 増減率
売上高	41,983	44,251	2,267	5.4%
営業利益	548	1,374	826	150.6%
経常利益	713	1,419	706	99.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	497	980	482	96.9%
1株当たり 四半期純利益(※)	20円43銭	40円22銭	---	---

為替レート (期中平均)	米ドル	111.70円	111.14円
	ユーロ	124.55円	130.97円
	シンガポールドル	81.60円	81.80円

～増収増益～  
(2期連続増収、純利益は2期ぶりの増益)

売上	日本	-新型血液透析装置「GC-X01」や摂食嚥下関連用品が拡大
	海外	-成分献血用回路が増加

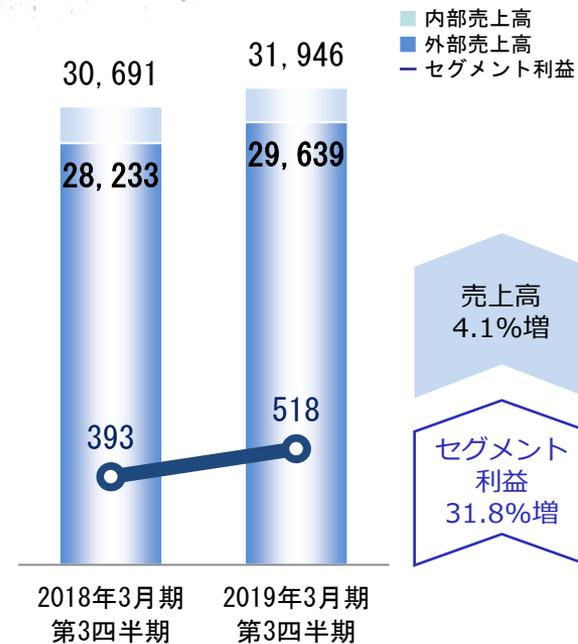
利益	-増収効果に加え、販売費の低減により利益は増加
----	-------------------------

※2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

# セグメント業績 (所在地別、経常利益ベース)

百万円

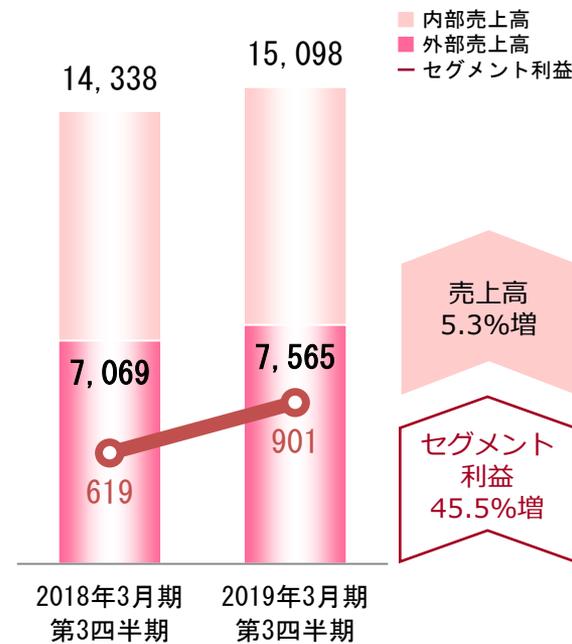
## 日本



**【売上】**  
 新型血液透析装置「GC-X01」や摂食嚥下関連用品が拡大

**【利益】**  
 販売費の低減により増加

## シンガポール※



**【売上】**  
 北米向けの成分献血用回路が増加

**【利益】**  
 増収効果により増加  
 ※シンガポールは、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでいます。

## 中国



**【売上】**  
 フィリピンへの生産移管により日本向けの輸液セットが減少

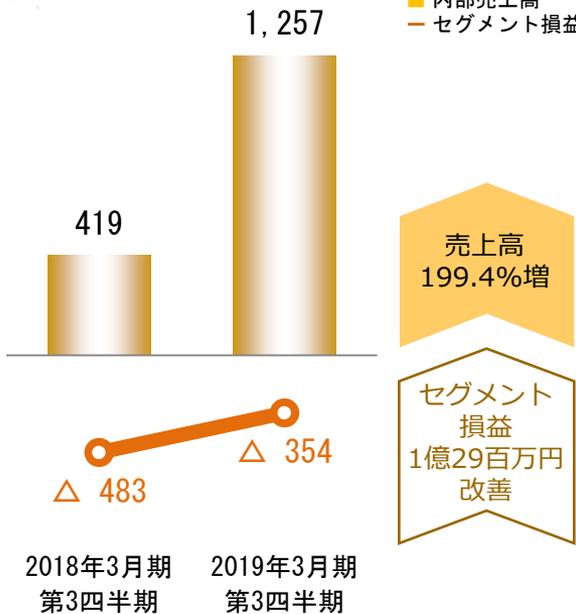
**【利益】**  
 労務費や経費の低減により増加

# セグメント業績 (所在地別、経常利益ベース)

百万円

## フィリピン

■ 内部売上高  
— セグメント損益

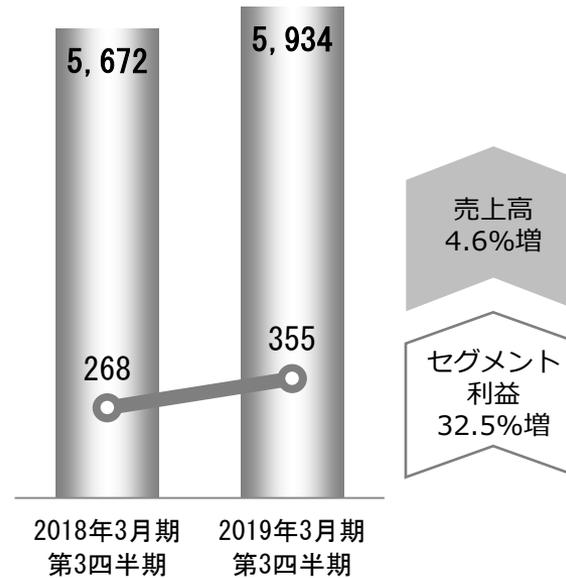


**【売上】**  
日本向けの輸液セットが増加

**【損益】**  
増収効果により改善

## その他※

■ 外部売上高  
— セグメント利益



※その他は、国内子会社及びドイツ、アメリカ、韓国の現地法人の事業活動を含んでいます。

## — 製品紹介 —

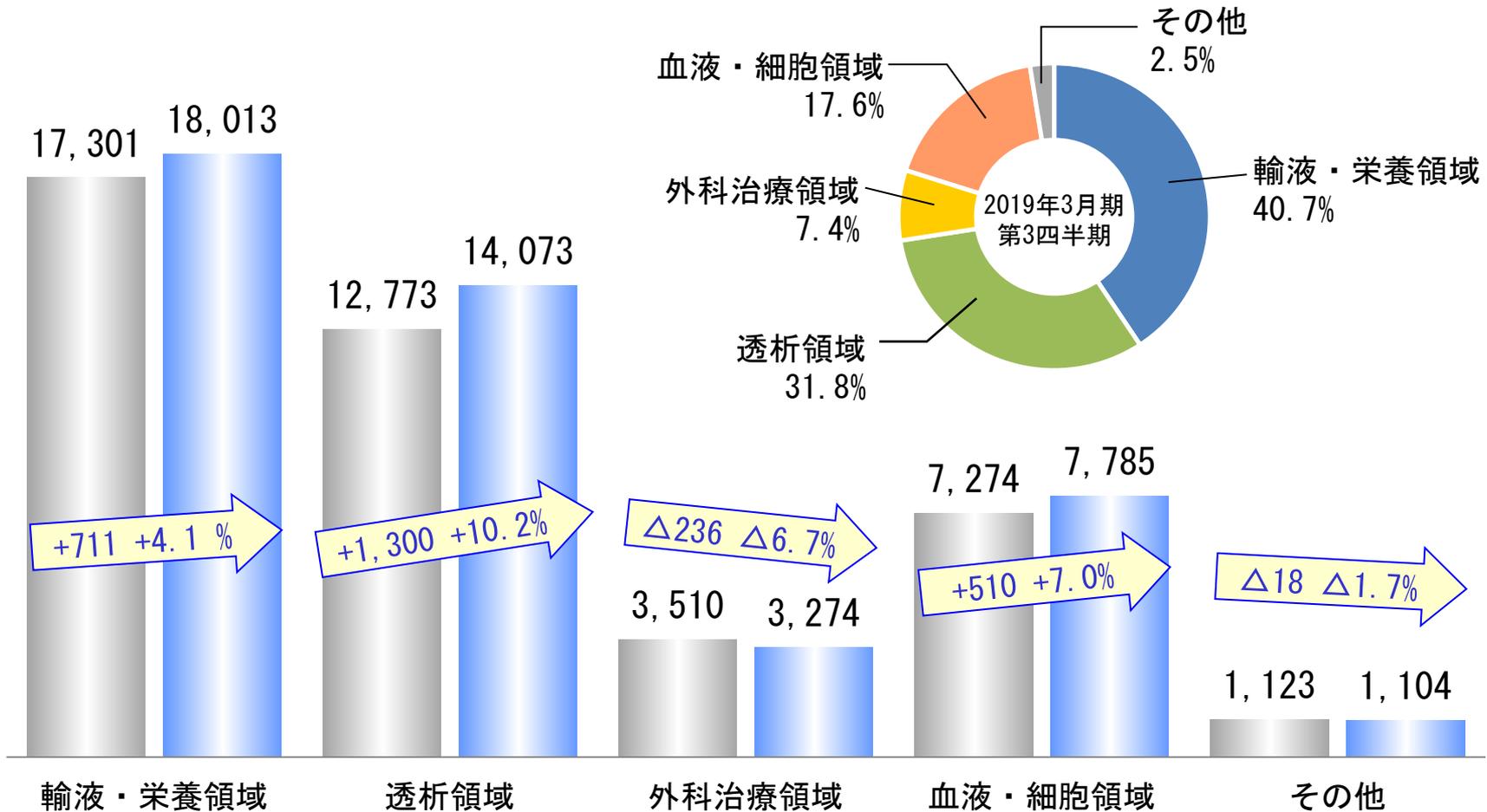


### 新型血液透析装置「GC-X01」

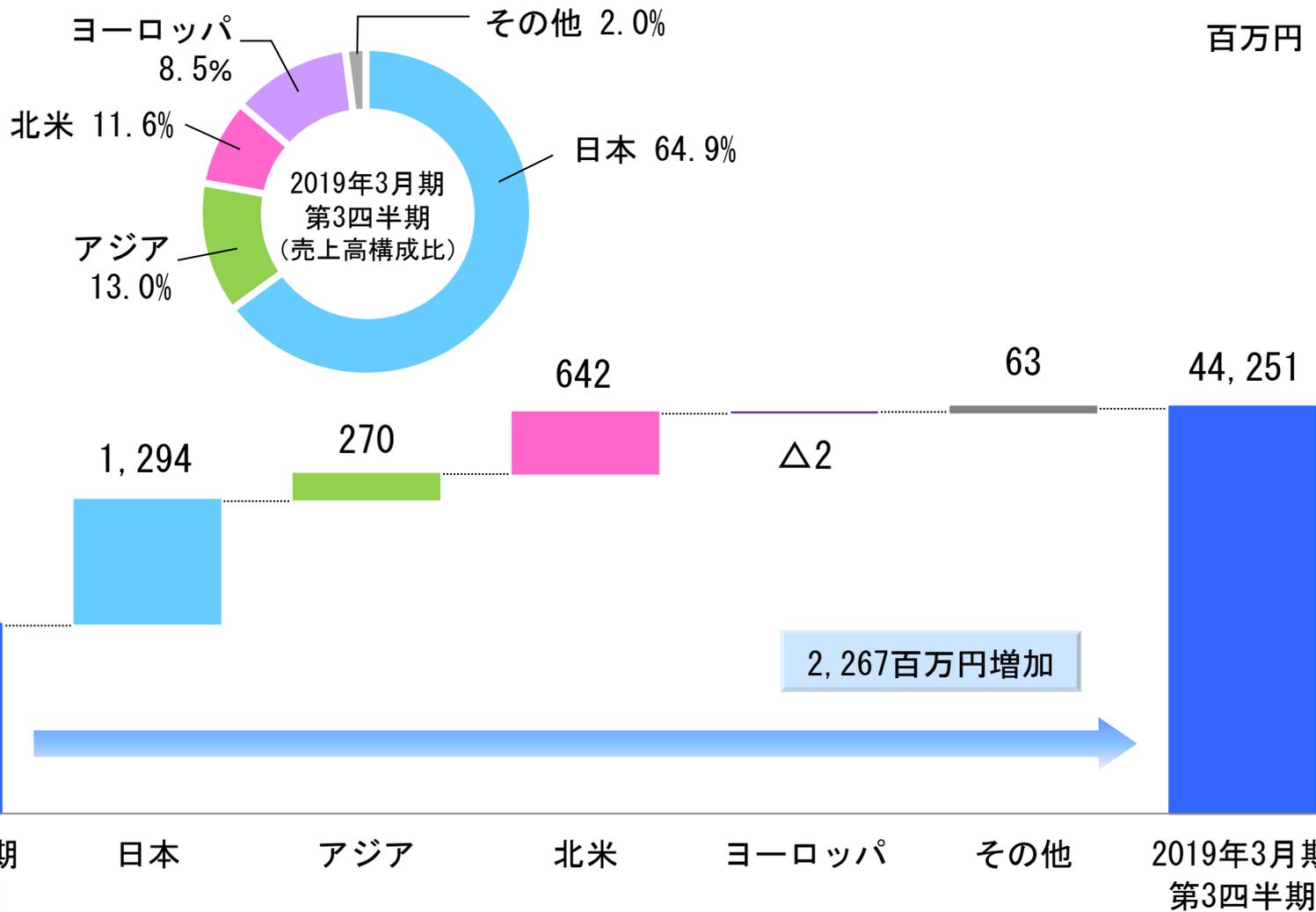
血液透析の際に、患者さんの血液を体外へ出し、ダイアライザー(血液透析器)で浄化したのち、再び体内へ戻す装置です。「GC-X01」は、多様なHDF(血液濾過透析)療法に対応し、シンプルな操作性と安全性の向上を実現しました。

# システム別売上高

2018年3月期 第3四半期
  2019年3月期 第3四半期
 百万円

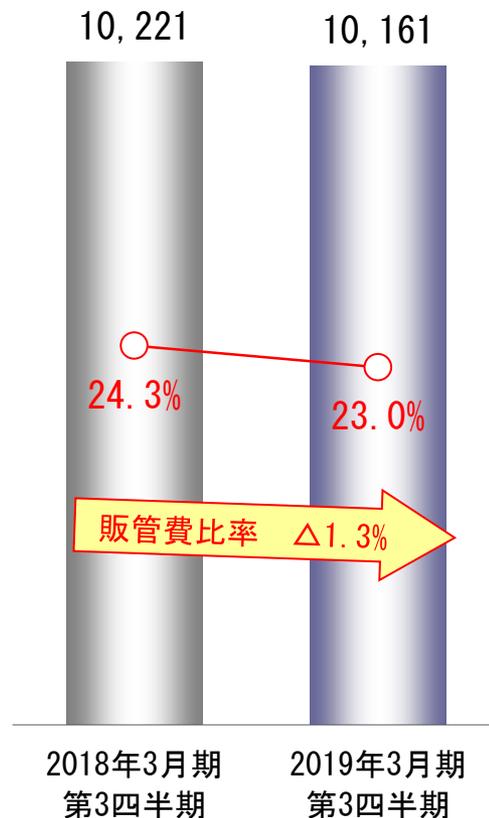


# 売上高増減分析 (顧客所在地別)



# 販売費及び一般管理費

百万円



百万円

	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	増 減	対前期 増減率
人 件 費	4,345	4,372	27	0.6%
運 送 費	1,210	1,244	33	2.8%
研究開発費	1,072	1,147	74	7.0%
減価償却費	258	248	△9	△3.8%
そ の 他	3,334	3,148	△185	△5.6%
計	10,221	10,161	△59	△0.6%

[研究開発費]

生分解性材料技術を活かした癒着防止膜の製品化に向けて治験を継続

[その他]

コミッション取引の減少による支払手数料の減少

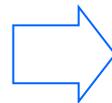
# 経常利益：前期実績との比較

百万円



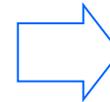
2018年3月期  
第3四半期

713



(605)

売上総利益の増加



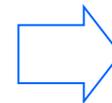
(66)

販管費の減少

(△94)



営業外収支の減少



128

為替影響額

706百万円増加

2019年3月期  
第3四半期

1,419

( )内は為替影響を除く

# 2019年3月期 通期連結業績予想

当第3四半期連結累計期間の実績を踏まえ、2019年3月期の通期連結業績予想を上方修正しました。

百万円

	2018年3月期 実績	2019年3月期		対前期 増減率
		前回予想	今回予想	
売上高	56,520	58,000	58,000	2.6%
営業利益	573	1,000	1,500	161.4%
経常利益	820	1,200	1,500	82.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	631	800	1,100	74.3%
1株当たり 当期純利益	25円91銭	32円83銭	45円13銭	---

為替レート（期中平均）

米ドル	110.85円	105円	111円
ユーロ	126.67円	130円	130円
シンガポールドル	81.74円	82円	82円

※日付： お知らせ開示日

-大野工場生産終了のお知らせ  
2018年9月26日

-譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分に関するお知らせ  
2018年7月18日

-譲渡制限付株式報酬制度の導入に関するお知らせ  
2018年5月18日

-カテーテル接続システム「ツインシールド」販売開始  
2018年4月18日



カテーテル接続システム「ツインシールド」



人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。